

様式1

平成31年度 学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校事業 実施計画書

1. 学校の概要

ふりがな	しまんとちょうりつひがしまたしょうがっこう				ふりがな	なかごし あかね			
学校名	四万十町立東又小学校				校長名	中越 あかね			
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
児童数等	7	12	11	14	11	7			
生徒数等	特別支援学級	計		教員数	ふりがな	やまさき まき			
	0	児童/生徒数	学級数	12	推進教諭名	山崎 真紀			
		62	6						

2. 研究主題

自ら課題を見つけ、主体的・協働的に学ぼうとする児童の育成
—図書館・NIE 活動を通して—

3. 研究主題設定の理由

本校の児童は与えられた課題に対しては真面目に取り組むことができるが、「主体的に」活動する、考えることにおいて弱さがみられる。また、学習の基礎となる「読む」「書く」「表現・発信する」ことに苦手意識をもっている。そのような児童の実態を受け、それらの力を伸ばすことに研究の視点を置き、取り組んできた。昨年度（平成30年度）は、国語科を中心に図書館資料や新聞を活用し「読み比べ」「パンフレットづくり」「図鑑づくり」「音読劇」「はがき新聞で他校と交流」など発達段階や児童の興味に合わせ、様々な活動に取り組むことができた。児童も、学校図書館を活用し学習することを「楽しい」「本をあまり借りていないころよりも『分かる!』ということが増えた」と前向きにとらえている。平成30年度の全国学力・学習状況調査では、国語A・Bとも全国平均を上回る結果となった。しかし、高知県学力定着状況調査や標準学力調査の結果では、全校的に「読むこと」の領域の得点が低く、図書館活動が児童の力にまだ結び付いていないことが浮き彫りとなった。今後も、継続して取り組んでいく必要がある。

本年度は、昨年度の取り組みをもとに、さらに学校図書館の活用を図り、「読み」を鍛えるための研究を進めていく。児童が自ら見つけた課題を解決するために、多様な資料の中から必要な情報を選び、情報を読み取り、表現していく一連の過程を教科カリキュラムと連動させながら、国語科だけでなく他教科でも幅広く取り入れていきたいと考えたため、この研究主題を設定した。また、各学年での取り組みや成果と課題など学期ごとに交流する場をもち、全体で確認・共有し合い、共通認識を図り、「チーム東又」として研究を進めていきたい。

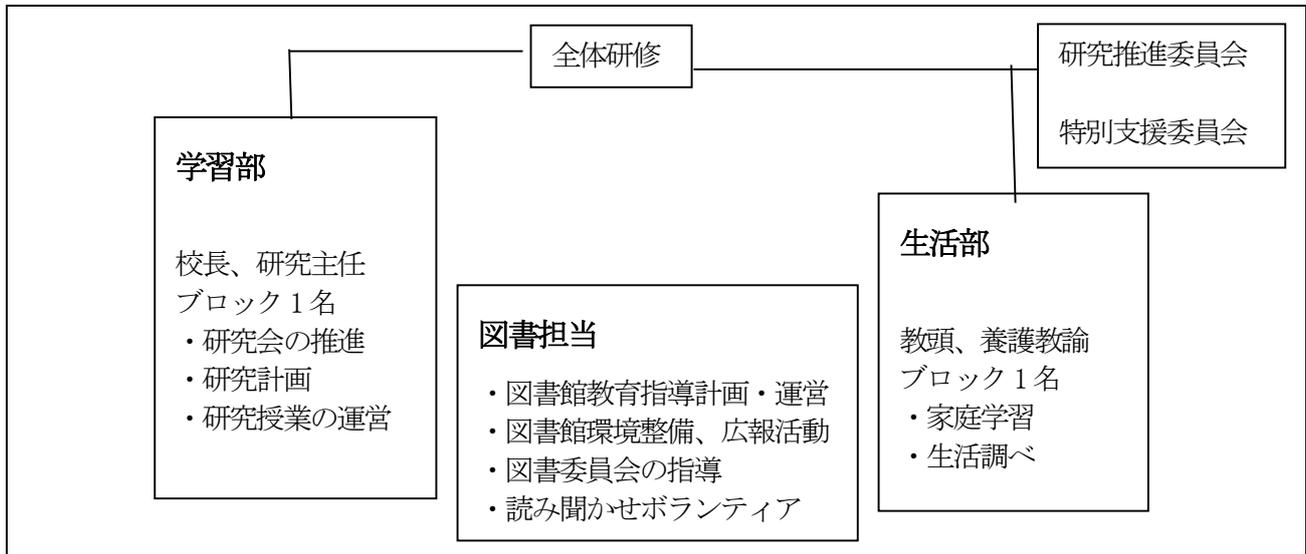
4. 研究仮説

学校図書館における「学習センター」や「読書センター」「情報センター」の機能の充実を図り、国語科を中心に、学校図書館の活用やNIE 活動を通して、児童の言語能力及び情報活用能力を育成する授業の研究・実践を行うことで読む力の育成が図れるのではないかと考える。また、教科カリキュラムと連動させ、各教科や総合的な学習の時間の中に学校図書館の活用を計画的に位置付け、継続して活用することで言語能力及び情報活用能力のさらなる向上が図れるのではないかと考える。

5. 方法及び内容

1. 「読むこと」の指導の充実を目指し学校図書館を活用した国語科を中心とする授業研究
 - ・国語科の授業研究（年間6回以上）
 - ・講師招聘による学習指導要領に基づいた主体的・対話的で深い学びの授業モデルの研究
 - ・単元構想図を活用し見通しをもった単元づくり
 - ・先進校視察や研究会へ参加し、学んだことを全体で共有
 - ・全国学力・学習状況調査結果の分析、高知県学力状況定着調査結果分析と、指導の重点化の検討
2. ・図書資料・新聞等を活用した授業研究
 - ・図書資料、新聞等を活用した授業研究・実践
 - ・国語辞典、百科事典の活用指導
 - ・先進校視察や研究会へ参加し、学んだことを全体で共有
3. 生活科・総合的な学習の時間を中心にしたカリキュラムマネジメントの研究・実践
 - ・生活科・総合的な学習の時間の図書館の活用や新聞づくり
 - ・教科等横断的なカリキュラムの実践と共有
 - ・スタートカリキュラムの活用
4. 学校図書館教育計画の見直し・実践
 - ・読書指導の充実
 - ・学年到達目標冊数の達成
 - ・学校図書館教育計画の見直し・実践
 - ・新聞感想文コンクール、読書感想文コンクール、学校新聞づくりコンクール等への取り組み

6. 研究体制



7. 検証

達成目標	指標	時期
・平成31年度の全国学力・学習状況調査結果において、国語の平均正答率を全国平均以上を目指す。	全国学力・学習状況調査結果	4月
・高知県学力定着状況調査において、国語の平均正答率を高知県平均かそれ以上を目指す。	高知県学力定着状況調査結果	12月
・標準学力調査の国語の平均正答率を全国平均以上を目指す。	標準学力調査結果	2月
・図書館資料や新聞を活用した授業を年間6回以上実施する。	図書館・新聞活用授業の充実	通年
・読書冊数低学年110冊、中学年90冊、高学年70冊を達成する。	冊数調べ	通年
・授業力チェックシートの教材研究、授業構成の平均を3以上にする。	授業力チェックシート	年間3回

8. 成果普及の方法

普及内容	方法	時期
・研究主題に沿った研究授業の実施 (国語科・生活科・総合的な学習の時間・道徳・社会科・理科等)	研究授業、研究発表会 公開授業	6月から1月
・教科カリキュラムの作成、共有、実施、改善	ホームページ	適時
・図書ワークシート・NIEワークシートの作成	冊子	3月
・学校図書館の環境整備	言語環境への関心を高める 掲示	通年

9. 年間事業計画

	校内研修等	公開授業・研究発表会 ※校外に案内する会	校外研修・視察等
4月	2日(火)・研究主題確認、年間計画の確認 ・研究授業計画 各部会 ・NIEタイム実施計画 10日(水)・教科カリキュラム実施計画 ・指導案形式提案 ・「授業力チェックシート」確認 18日(水)・学校図書館教育計画提案		11日(木) 学校図書を活用した「読み」を鍛える拠点事業に係る研修会

5月	16日(木)・研究授業教材研究・指導案検討(2年生) 22日(水)・全国学力・学習状況調査自校採点報告・分析 29日(水)・研究授業・事後研(2年生)	公開授業研究会、国語(2年生) 講師未定	
6月	5日(水)・研究授業教材研究・指導案検討(5年生) 17日(月)・研究授業教材研究・指導案検討(3年生) 26日(水)・研究授業・事後研(5年生) ●新聞感想文コンクール	公開授業研究会、国語(5年生) 講師未定	筑波大学附属小学校研究会参加 兵庫県たつの市新宮小学校視察
7月	1日(水)・研究授業・事後研(3年生) ・授業力チェックシート実施	公開授業研究会、国語(3年生) 講師未定	
8月	2日(金)・プログラミング教育 5日(月)・各ブロック教材研究 21日(水)・1学期の実践報告会 ・図書館活用実践報告 ・NIE活動実践報告 ・教科カリキュラム実践報告 25日(日)・各ブロック教材研究 ・オンデマンド視聴研修 27日(火)・全国学力・学習状況調査結果の分析と今後の方策 ・個人カルテ達成状況報告		高知大学附属小学校研究会参加
9月	11日(水)・新学習指導要領研修 25日(水)・新聞づくりコンクール研修		新聞づくりコンクール研修 講師未定
10月	9日(水)・研究発表会に向けて 16日(水)・研究授業教材研究・指導案検討(1年生) 23日(水)・研究授業教材研究・指導案検討(4年生) 30日(水)・研究授業教材研究・指導案検討(6年生) ●学校新聞づくりコンクール		
11月	13日(水)・研究授業教材研究・指導案検討(3年生) 20日(水)・研究発表会に向けて 研究紀要原稿最終確認 27日(水)・児童アンケート結果分析 ・授業力チェックシート結果分析		生活総合四国大会参加 兵庫県たつの市新宮小学校視察
12月	11日(水)・2学期実践報告会 ・図書館活用実践報告 ・NIE実践報告 18日(水)・研究発表会に向けて 研究紀要作成・確認		
1月	15日(水)・高知県学力定着状況定着調査自校採点結果分析 22日(水)・研究発表会に向けて ブロック研	24日(金) 学校図書館を活用して「読み」を鍛える拠点校事業	生活・総合冬季大会参加

	29日(水)・研究発表会の反省	研究成果発表会 (1年生・4年生・6年生) 講師、助言者未定	
2月	12日(水)・今年度の成果と課題検証 ・学校経営計画 19日(水)・標準学力調査結果分析 ・個人カルテ到達状況報告 ・高知県学力定着状況定着調査採点 結果分析		高知大学附属小学校研究会参加 香川大学附属高松小学校 研究会参加 筑波大学附属小学校研究会 参加
3月	4日(水)・事例研究 ・来年度に向けて		